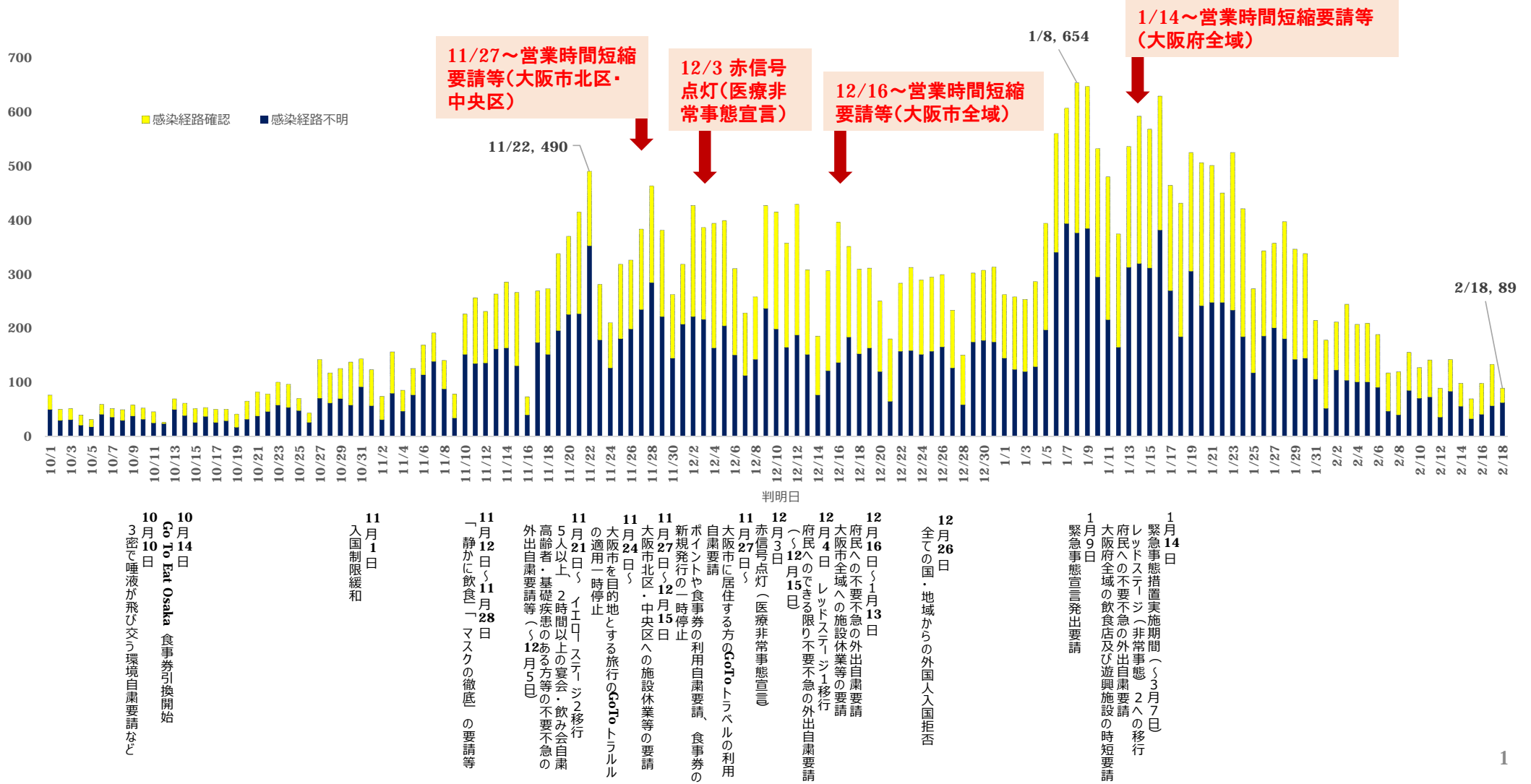
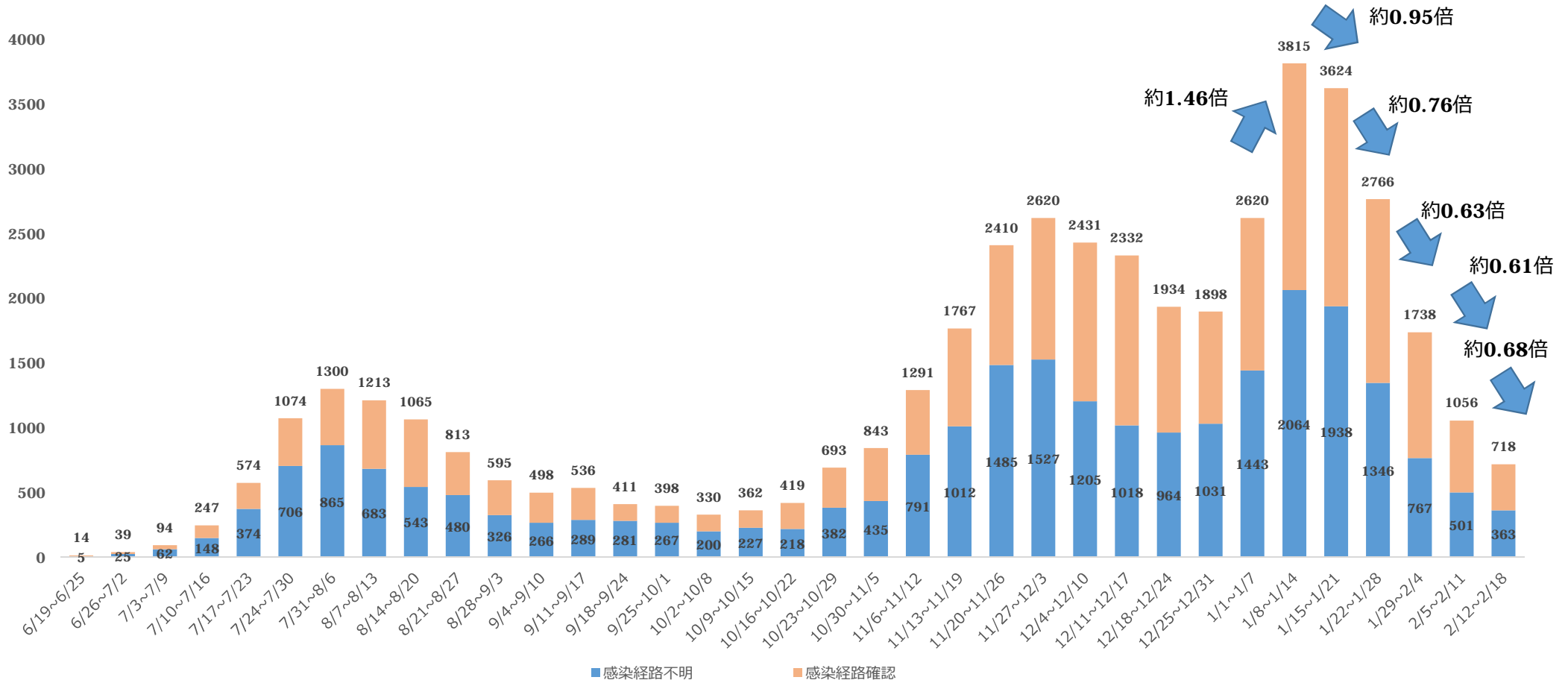


# 陽性者数の推移

資料 1 - 1



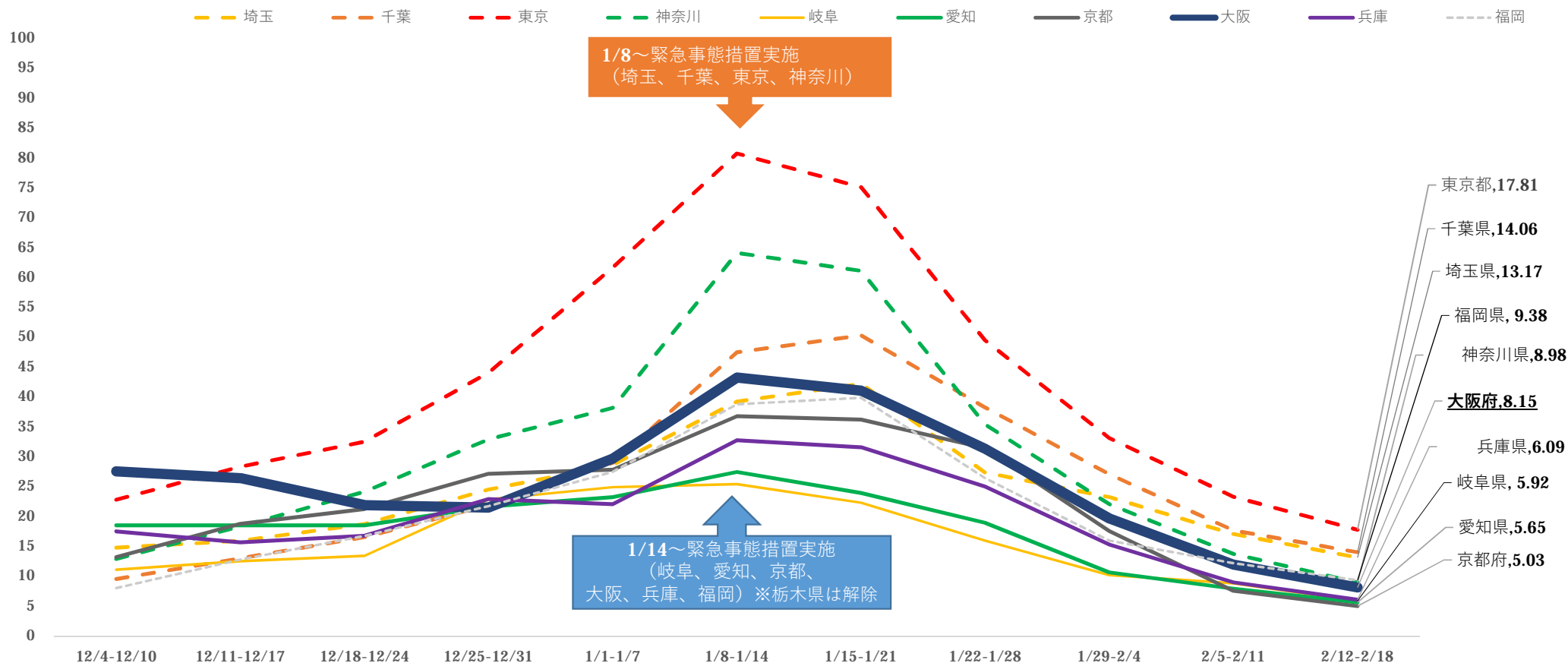
# 7日間毎の新規陽性者数



1月14日以降の緊急事態措置実施により、新規陽性者数は大きく減少。(直近1週間の一日平均103名)

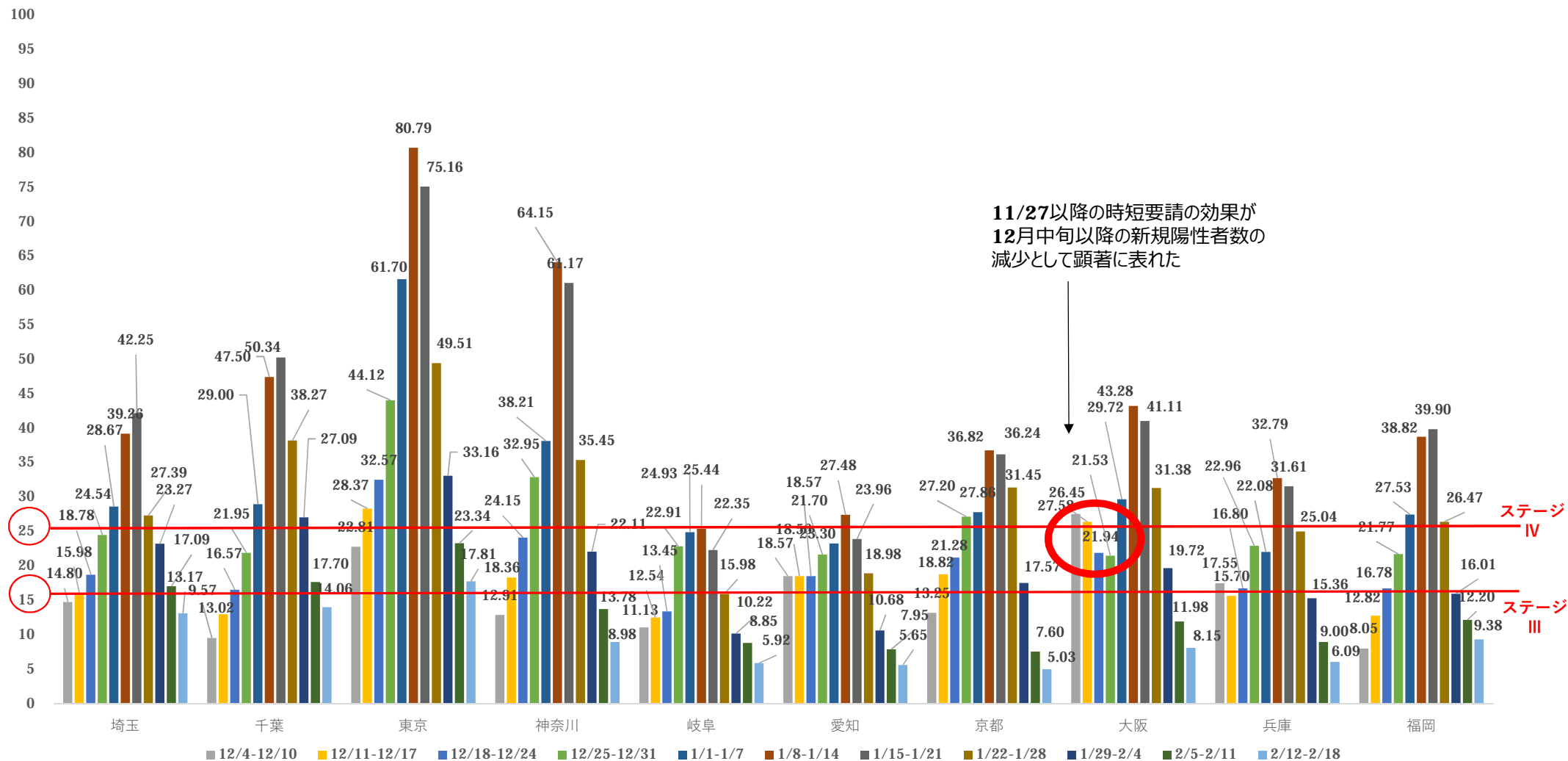
# 緊急事態宣言対象区域 週・人口10万人あたり新規陽性者数

◆ 緊急事態措置実施後、各都道府県で新規陽性者数が大きく減少。大阪府も他都道府県と同様に大きく減少し、兵庫県や京都府と同様、国分科会指標ステージⅢの基準(15人)を下回っている。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

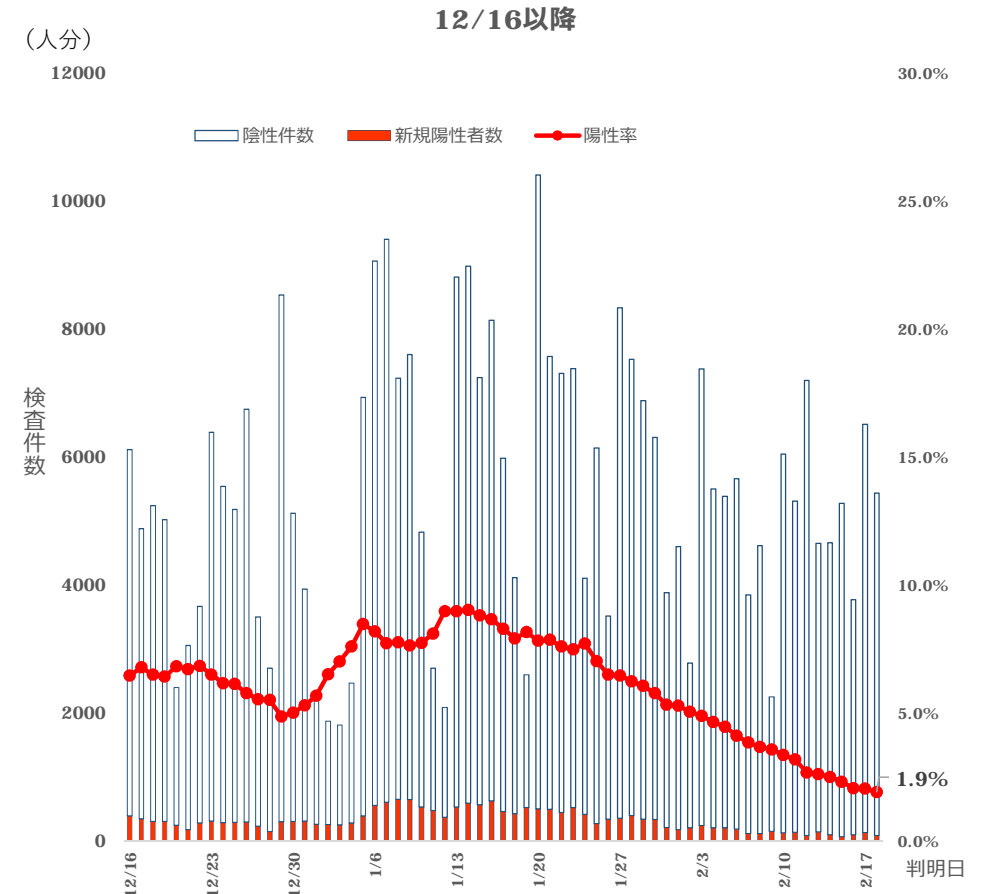
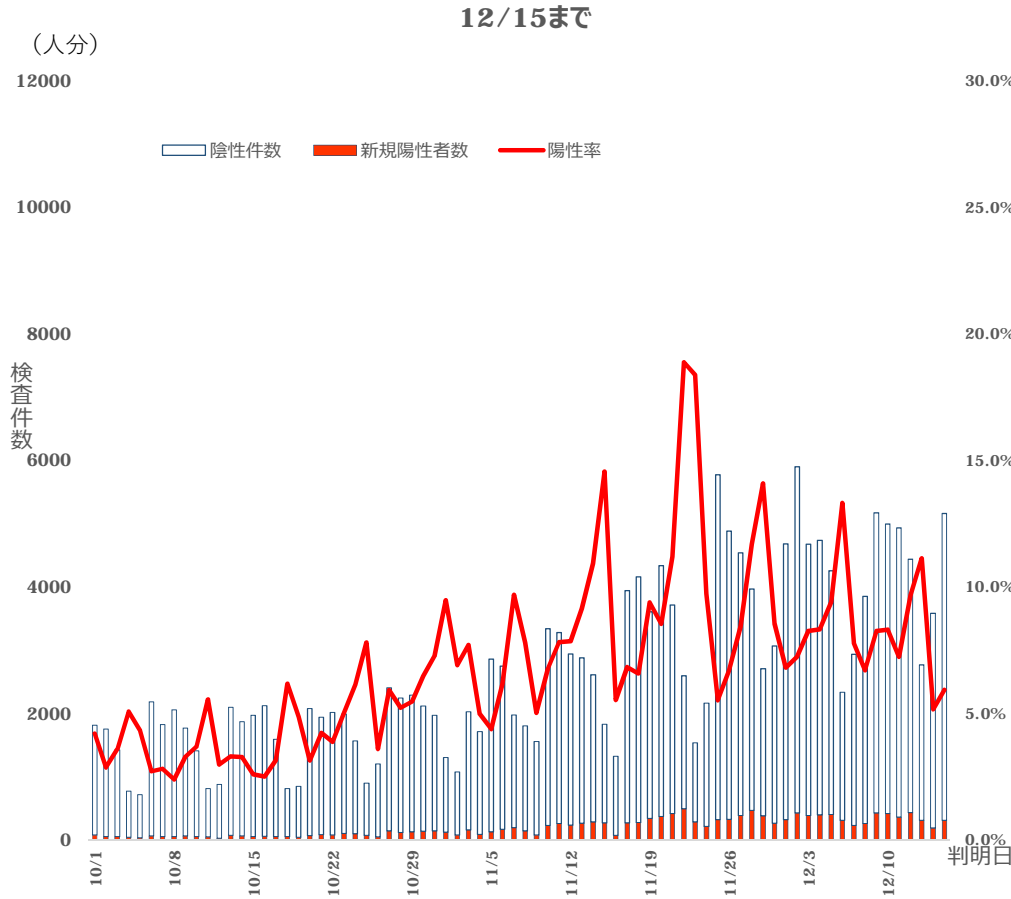
# 緊急事態宣言対象区域 週・人口10万人あたり新規陽性者数



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

# 検査件数と陽性率

◆ 陽性率は、1月15日以降低下し、2月18日時点で1.9%。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数/1週間の検体採取をした人数」に変更

## 「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	0.60	0.64	0.71	0.72	0.69	0.71	0.72	1/17以降1を下回り、減少
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	62.29	61.43	62.71	61.71	55.57	54.14	51.86	1/11をピークに減少
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	39.3%	59.2%	56.1%	46.4%	41.8%	45.1%	69.7%	概ね40～50%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で 半数以上	—	—	—	936	890	871	821	764	770	718	1/12以降、減少
	うち後半3日間		357	372	329	309	265	300	320				
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	10.62	10.10	9.88	9.31	8.67	8.74	8.15	1/12以降、減少
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	2.7%	2.6%	2.5%	2.3%	2.1%	2.1%	1.9%	2/12以降、2%台
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率(※)		70%以上 （「警戒（黄色）」信号が 点灯した日から起算して25 日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	61.0%	58.1%	59.3%	64.3%	60.2%	52.5%	49.8%	2/17に60%を下回った
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	47.1%	42.3%	42.7%	43.7%	39.1%	38.6%	36.6%	2/16以降、30%台
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	14.0%	14.1%	13.7%	13.0%	11.4%	10.6%	10.7%	2/8以降、10%台

重症病床使用率（非常事態（赤色）解除の指標）は、2月17日に6割を下回った。

## (参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

【緊急事態措置解除の考え方】 ※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年1月7日変更）」より  
国内での感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫状況（特に、緊急事態措置を実施すべき区域が、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域になっているか等）を踏まえて、総合的に判断。

	指標		目安	1/7 ※1	2/8 ※2	2/18	2/18時点の 目安に対する状況	ステージⅣ基準を 下回った日	(参考) ステージⅢ 目安	2/18時点の 目安に対する状況		
	ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	①病床のひっ迫 具合	病床全体	最大確保病床の占有率	50%以上	63.2% (1,021/1,615)	58.0% (1,129/1,946)	38.1% (747/1,962)	○	2/10～	20%以上
現時点の確保病床数の占有率					—	64.9% (1,021/1,572)	58.0% (1,129/1,946)	38.1% (747/1,962)	—	—	25%以上	●
うち、重症者用 病床			最大確保病床の占有率	50%以上	69.8% (277/397)	56.6% (239/422)	44.3% (180/406)	○	2/13～14 2/17～	20%以上	●	
			現時点の確保病床数の占有率	—	69.8% (277/397)	56.6% (239/422)	44.3% (180/406)	—	—	25%以上	●	
		②人口10万人あたり療養者数		25人以上	50.67	37.41	16.73	○	2/13～	15人以上	●	
監視体制		③陽性率 1週間平均		10%未満	7.7%	3.7%	1.9%	○	11/30～	ステージⅣと同基準	○	
感染の状況		④週・人口10万人あたり新規報告数		25人以上	29.72	14.69	8.15	○	2/1～	15人以上	○	
		⑤直近一週間と先週一週間の比較		1未満	1.38 (2,620/1,898)	0.60 (1,295/2,173)	0.68 (718/1,056)	○	1/17～	ステージⅣと同基準	○	
		⑥感染経路不明割合 1週間平均		50%未満	55.1%	46.3%	50.6%	●	1/24～2/13 2/17	ステージⅣと同基準	●	

※1：緊急事態宣言要請を決定した第34回対策本部会議（1/8）に示した数値 ※2：緊急事態宣言解除要請について審議した第37回対策本部会議（2/9）に示した数値  
病床確保計画に定める「最大確保病床」（病床全体：1,615床、重症：215床）を「現時点の確保病床」が上回る場合は、「現時点の確保病床数」に読み替える。

●：基準外 ○：基準内

2/17時点でいずれの指標もステージⅣの基準を下回ったが、18日に感染経路不明割合のみ基準をやや超過。  
また、医療提供体制等の負荷の指標以外はステージⅢの基準も下回っている。

# 推定感染日別陽性者数（2月17日時点）

◆ 12月30日をピークに減少に転じ、1月14日以降の緊急事態措置により急減。

（10月10日以降2月17日までの判明日分）（N=29,050名（調査中、不明、無症状6,140名を除く））

※推定感染日：発症日から6日前と仮定

潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定  
（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25変更）」より）

陽性者数

■ 感染経路不明（推定感染日別）

■ 感染経路確認（推定感染日別）

— 新規陽性者数（判明日別）

12/24 東京都800人超過（12/17以来）  
12/26 東京都900人超過  
12/31 東京都1,000人超過  
1/2 1都3県緊急事態宣言要請  
1/6 府500人超過  
1/7 府600人超過

11/12～  
静かに飲食・常にマスクを要請

11/21～  
5人以上・2時間以上の  
宴会・飲み会自粛要請

11/27～  
北区・中央区への時短要請等

12/3  
赤信号点灯  
（医療非常  
事態宣言）

12/16～  
府民への不要不急外出  
自粛要請・大阪市全域への  
時短要請等

1/14～  
緊急事態措置  
府域の飲食店等への  
時短要請

感染から発症まで6日、  
発症から陽性判明まで7日と  
仮定すると、概ねこの期間は今後、  
新規陽性者の発生に伴い、増加。

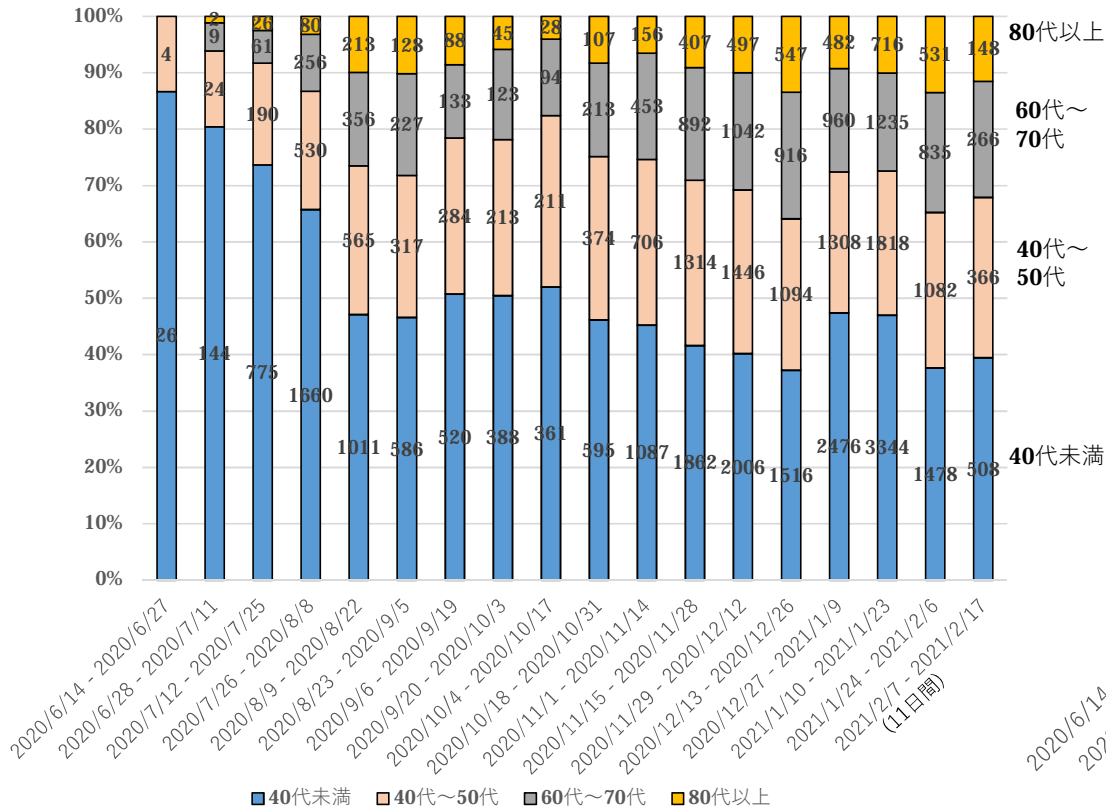




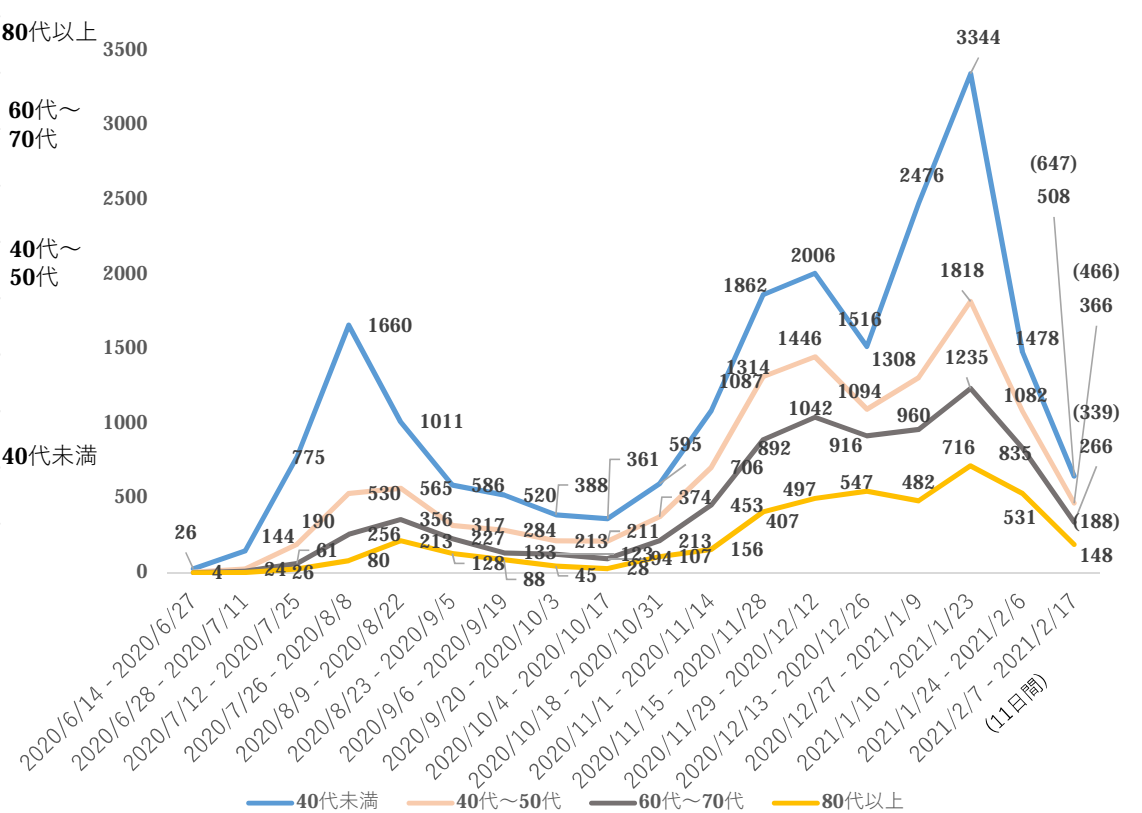
# 陽性者の年齢区分

(6月14日以降2月17日までに判明した44,461事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



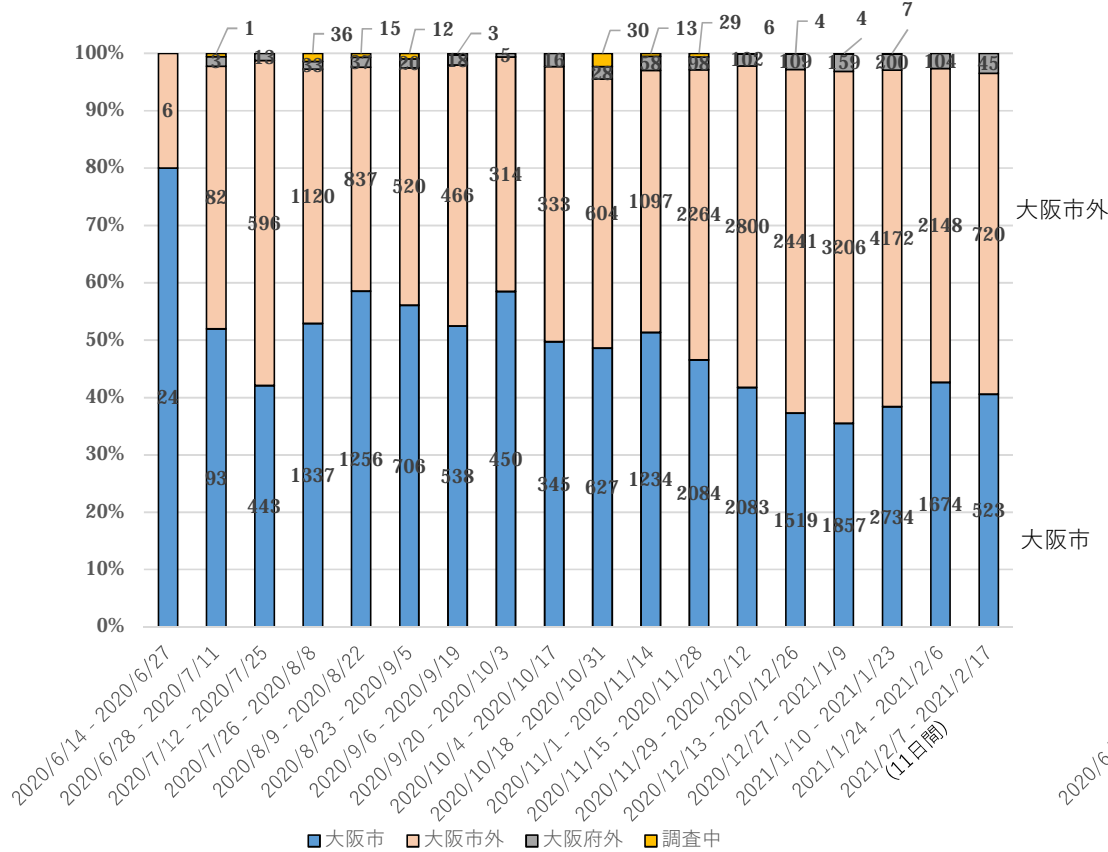
直近11日間における40代未満の割合は4割と、やや増加。60代以上の割合は3割強と、やや減少。

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

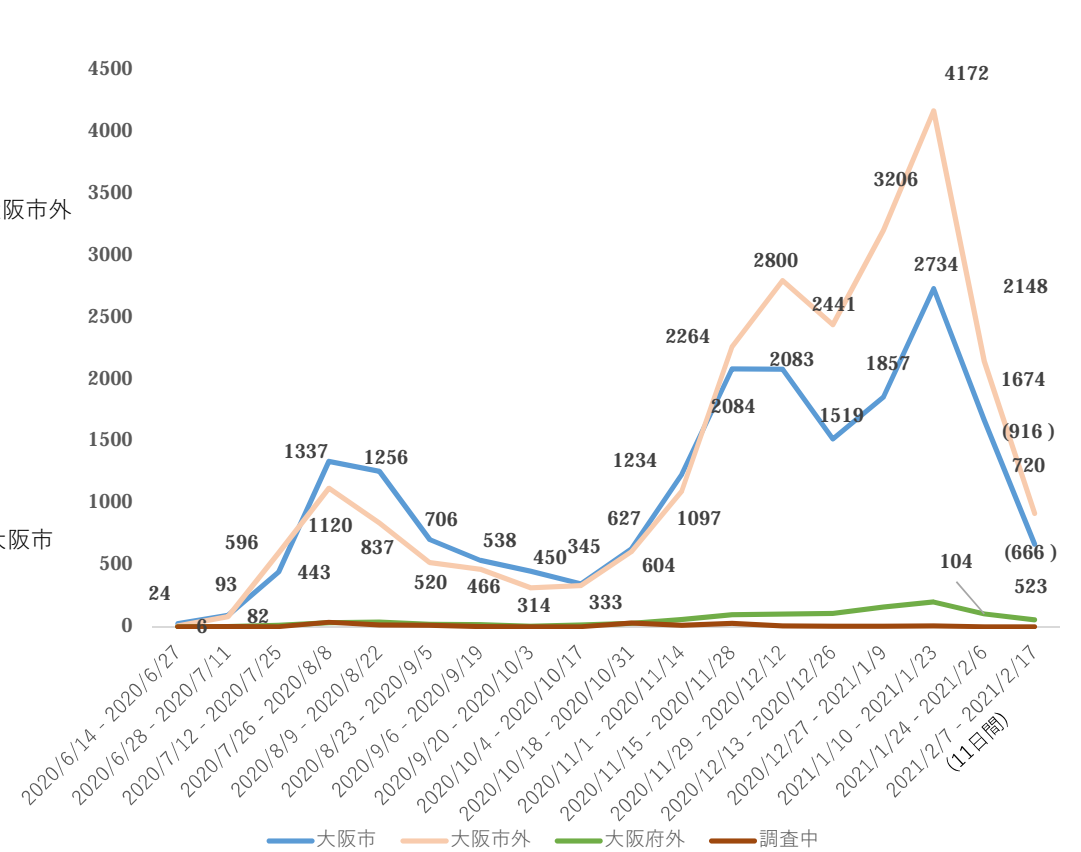
# 陽性者の居住地

(6月14日以降2月17日までに判明した44,461事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)

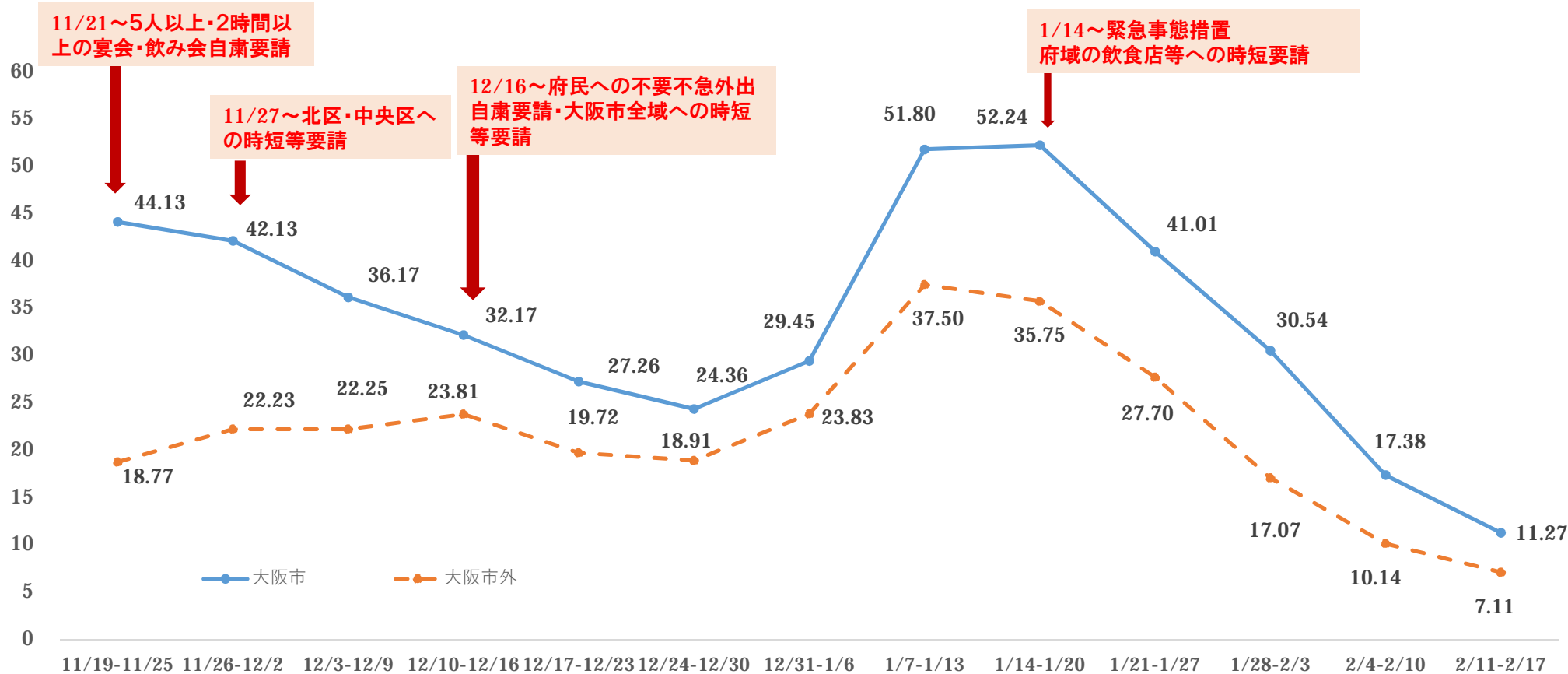


直近11日間における、大阪市内居住者の割合は約4割。

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

# 大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり）

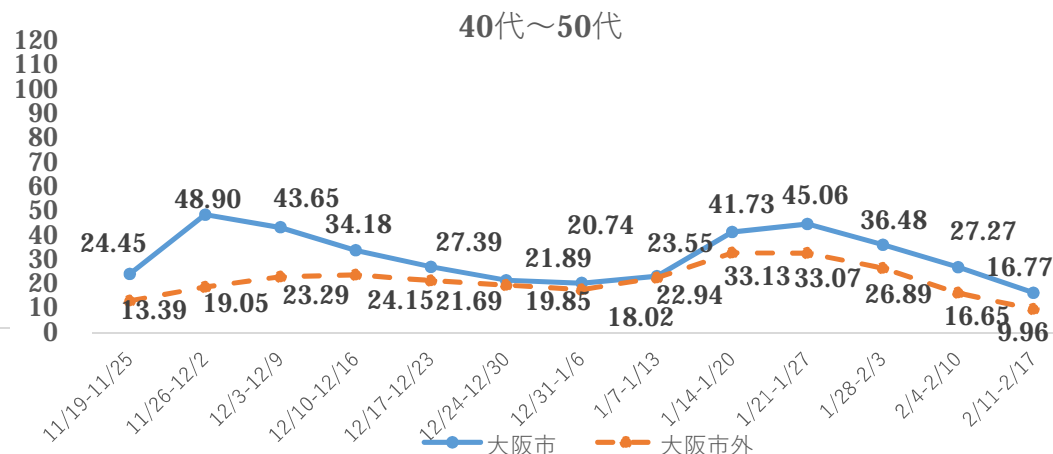
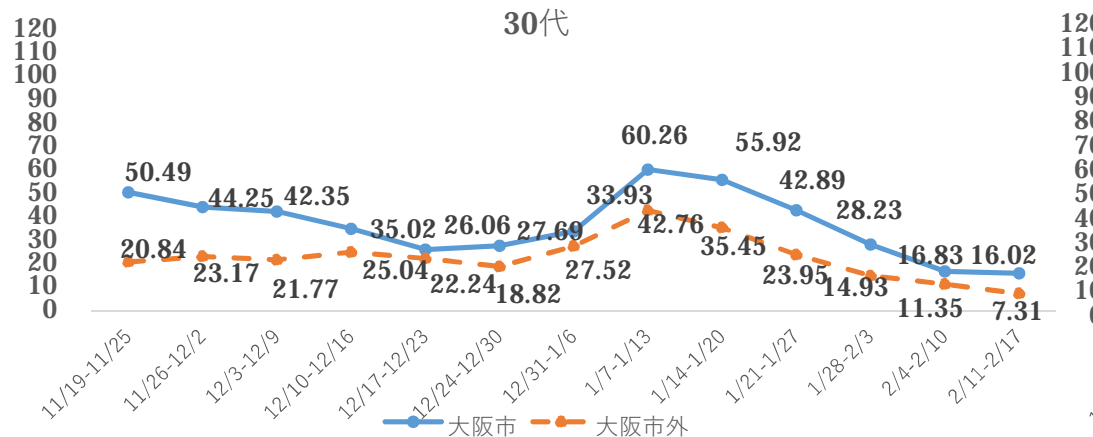
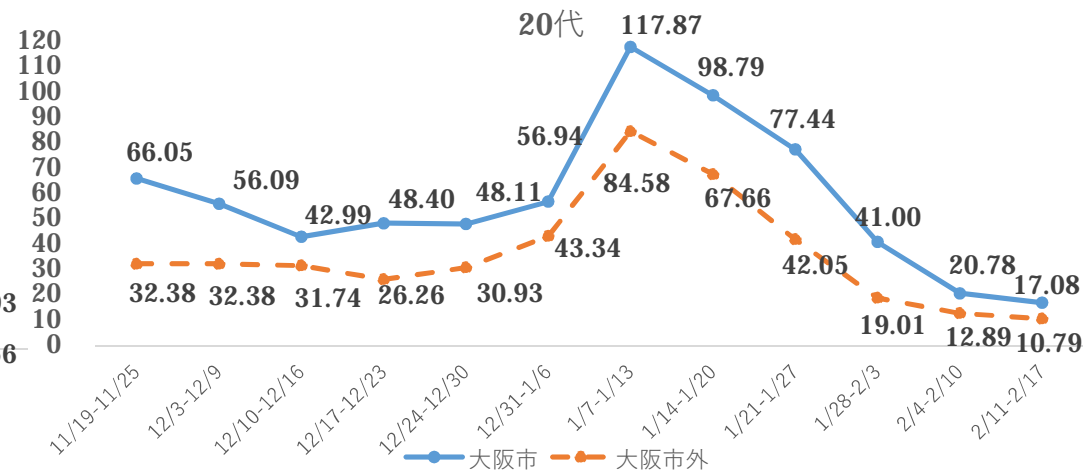
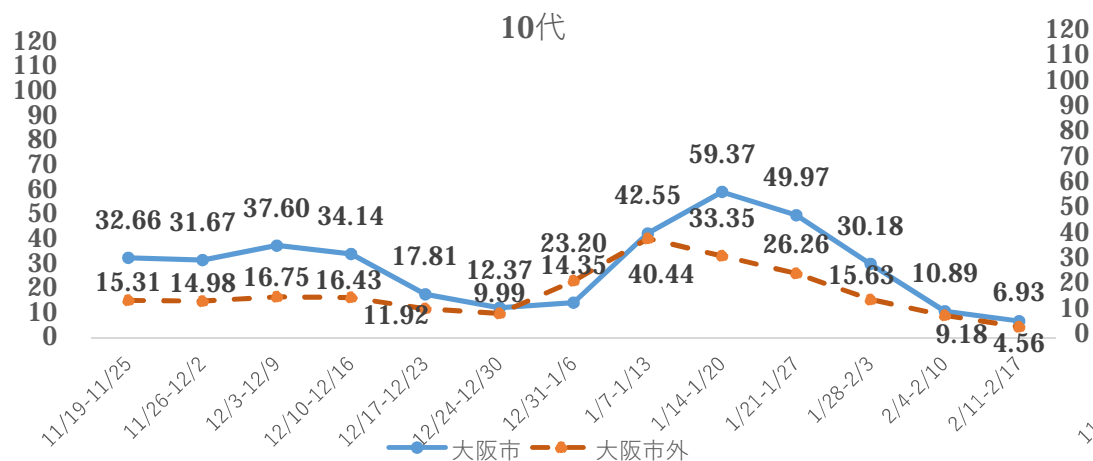
※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



1月14日以降の府域への時短要請以降、大阪市内・市外いずれも減少。

# 大阪市・市外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

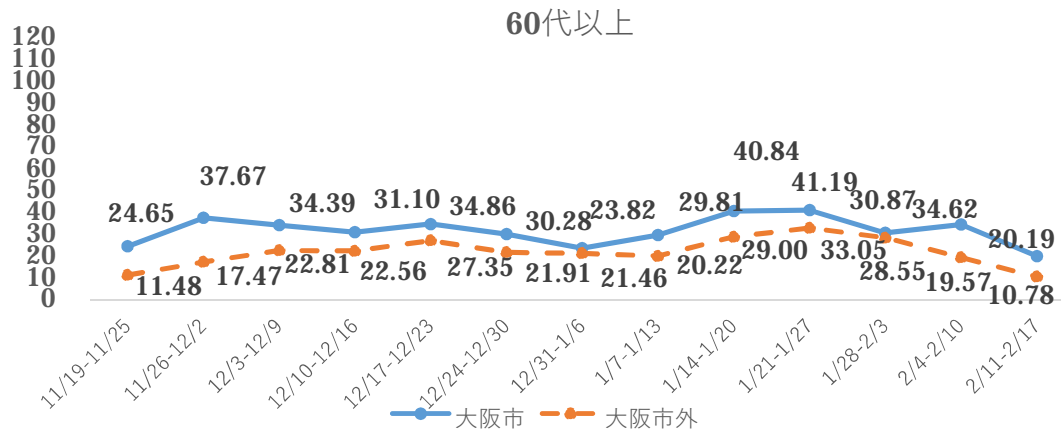
※市内外は居住地による  
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



市内・市外にかかわらず、全年代で1月中下旬以降の人口10万人あたりの新規陽性者は減少。

# 大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



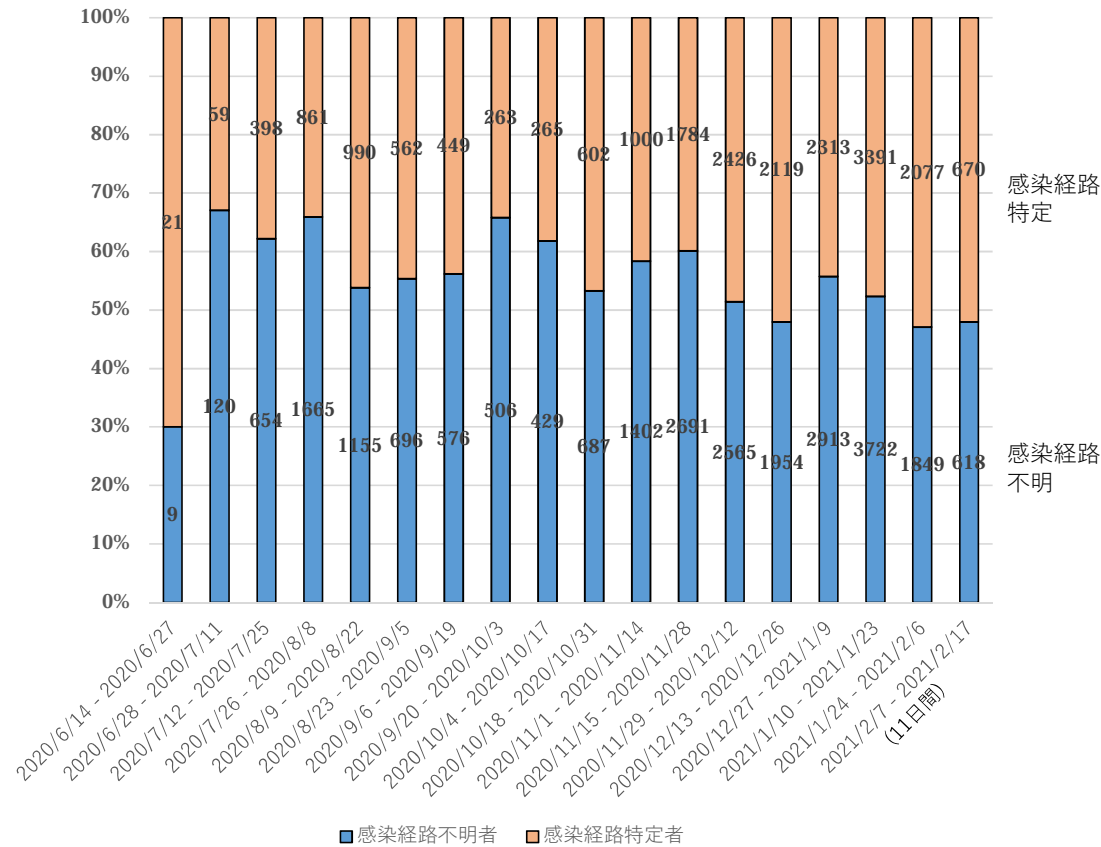
直近1週間で、市内・市外ともに人口10万人あたりの新規陽性者は減少。

# 陽性者の感染経路の状況

U 1月下旬以降感染経路不明の割合が5割を下回っているが、直近11日間でやや増加。

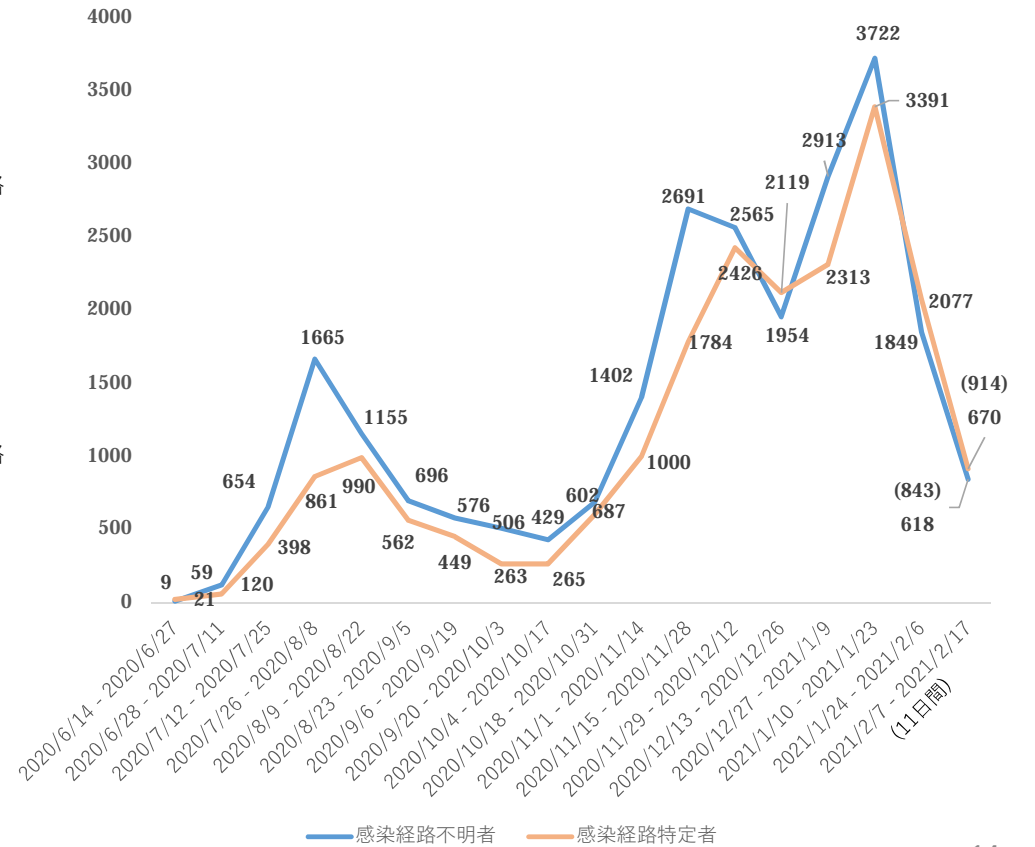
(6月14日以降2月17日までに判明した44,461事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

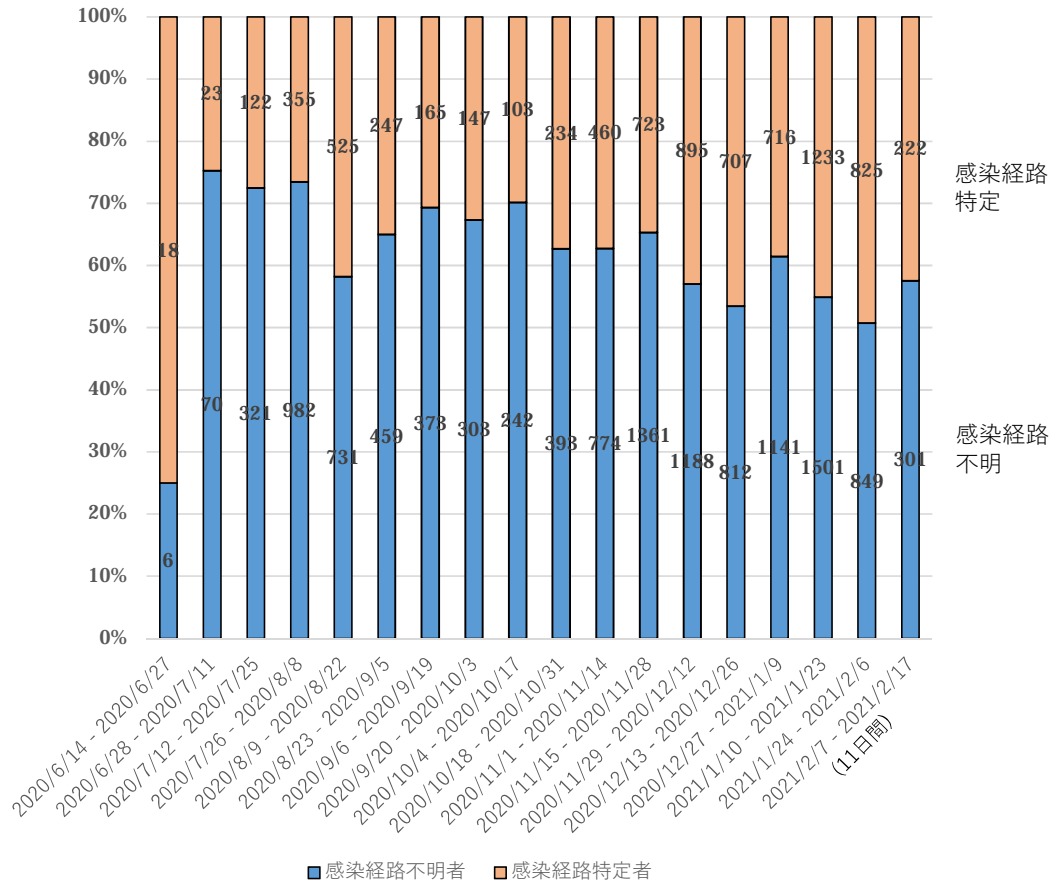


# 陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

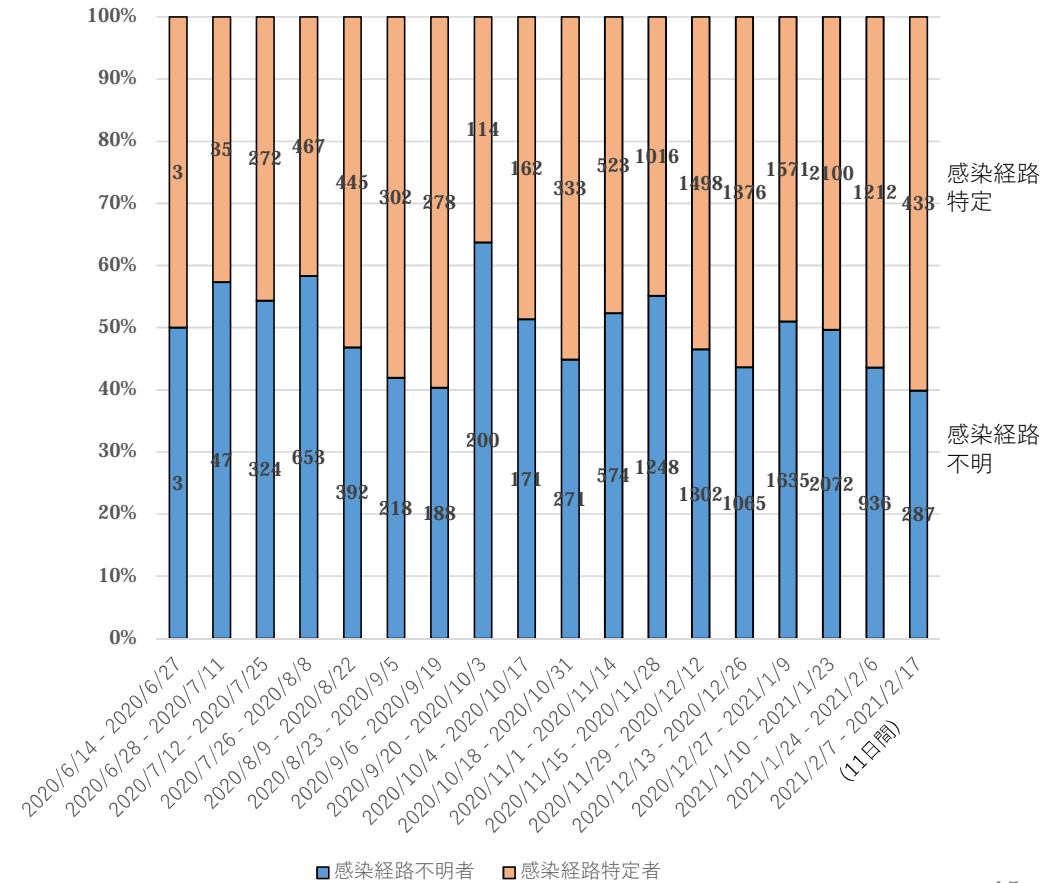
※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

◆ 1月以降、感染経路不明の割合は市内・市外居住者ともに減少していたが、市内では直近11日間で増加。市外では直近11日間で4割程度まで減少。

感染経路の状況（大阪市内）

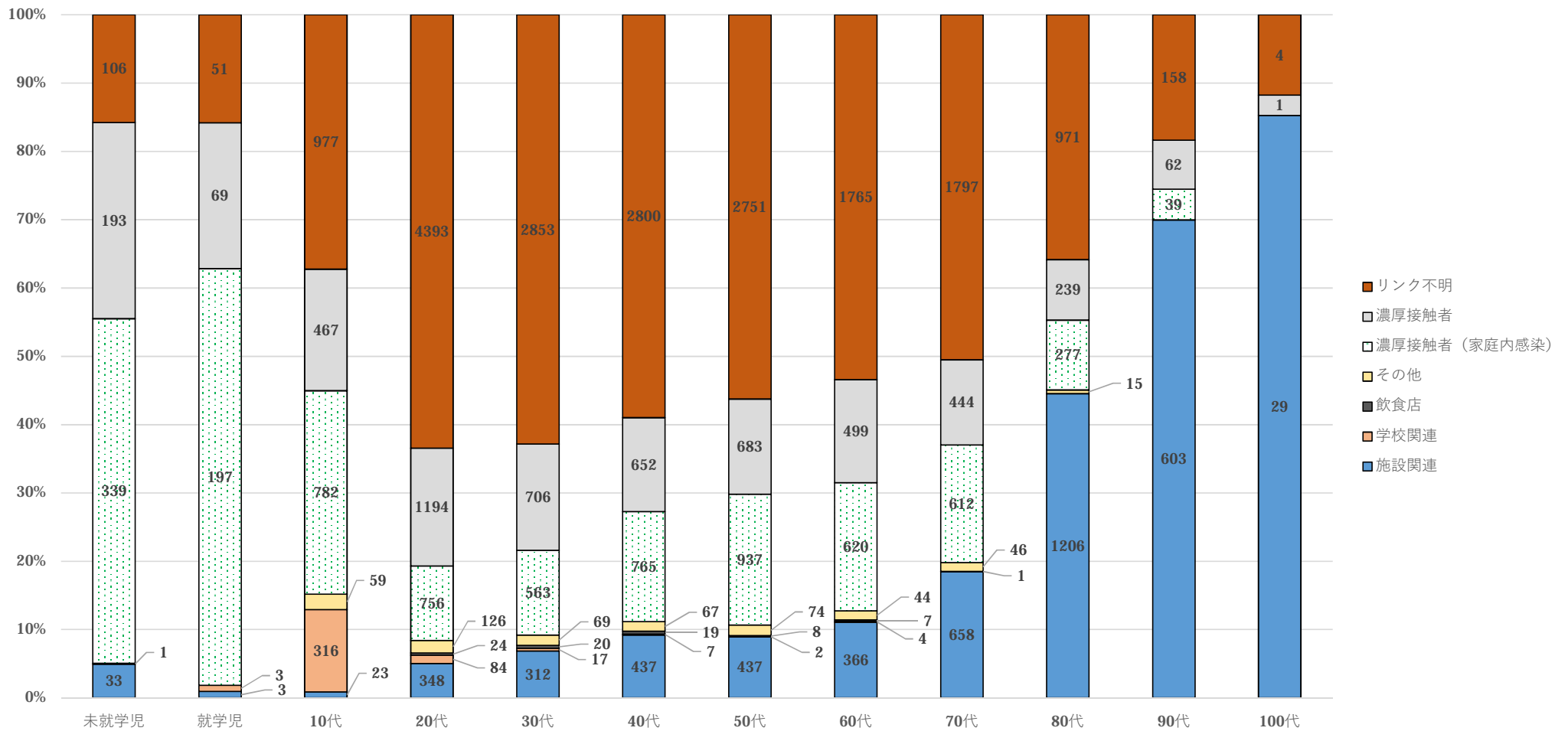


感染経路の状況（大阪市外）



# 年代別感染経路（第三波）

（10月10日以降2月17日までに判明した35,190事例の状況）

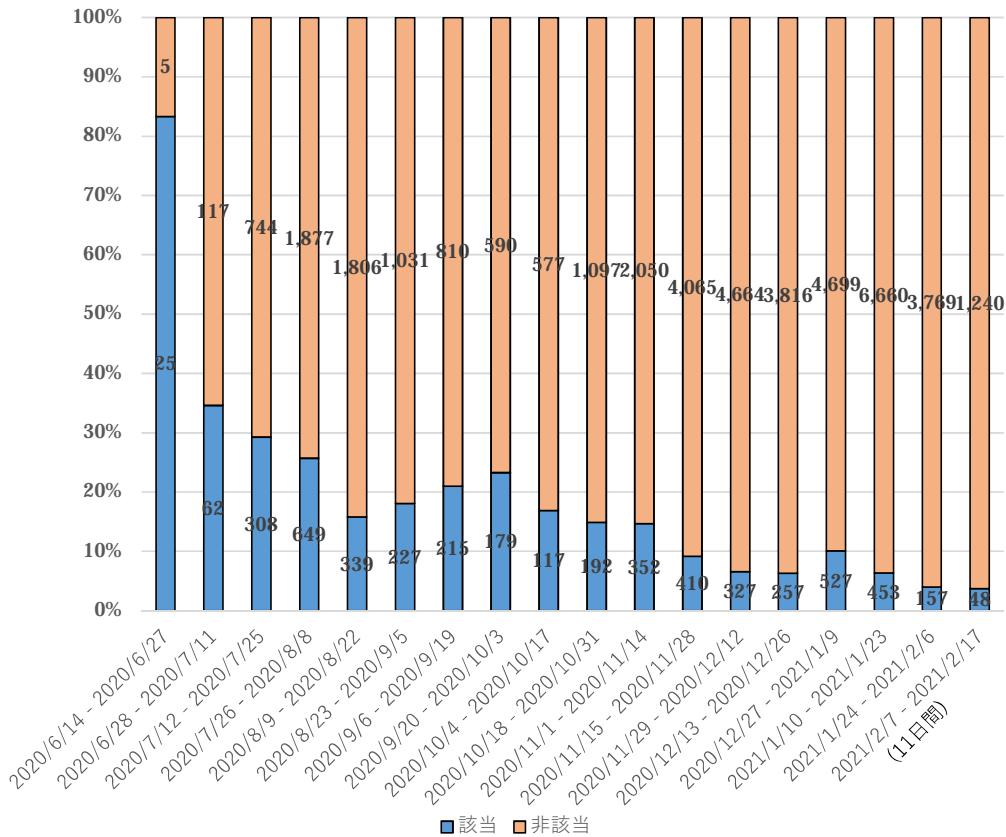




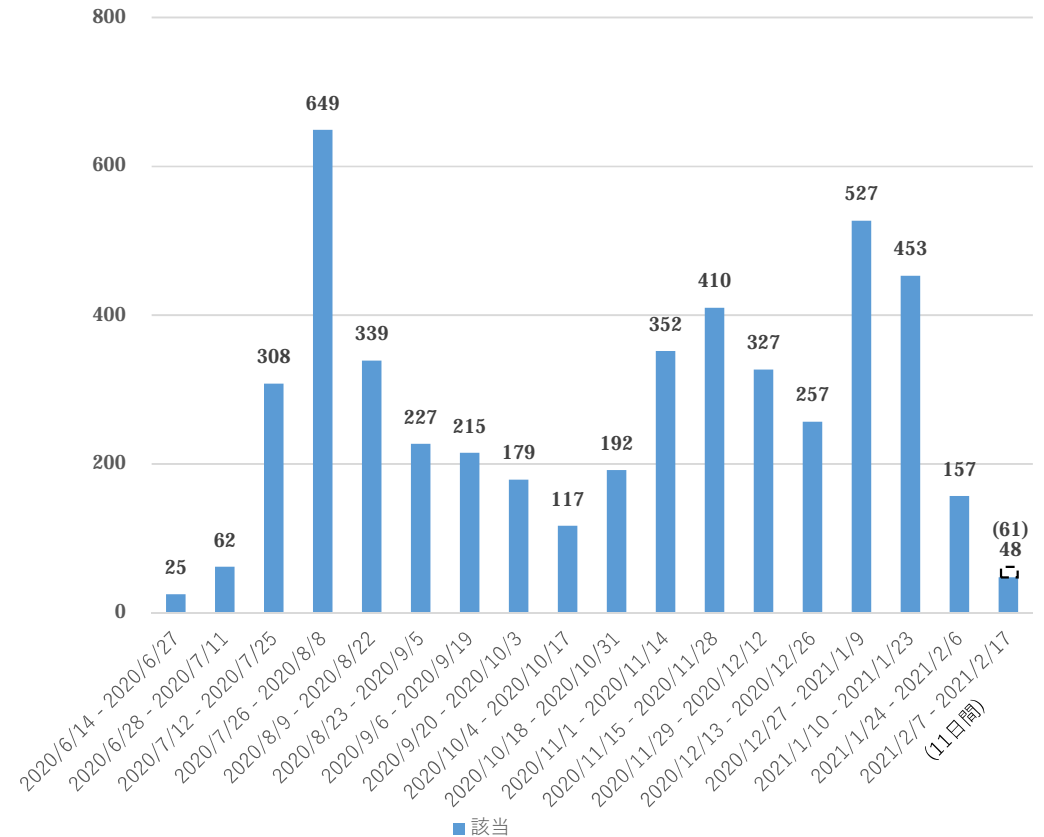
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

（6月14日以降2月17日までに判明した44,461事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）



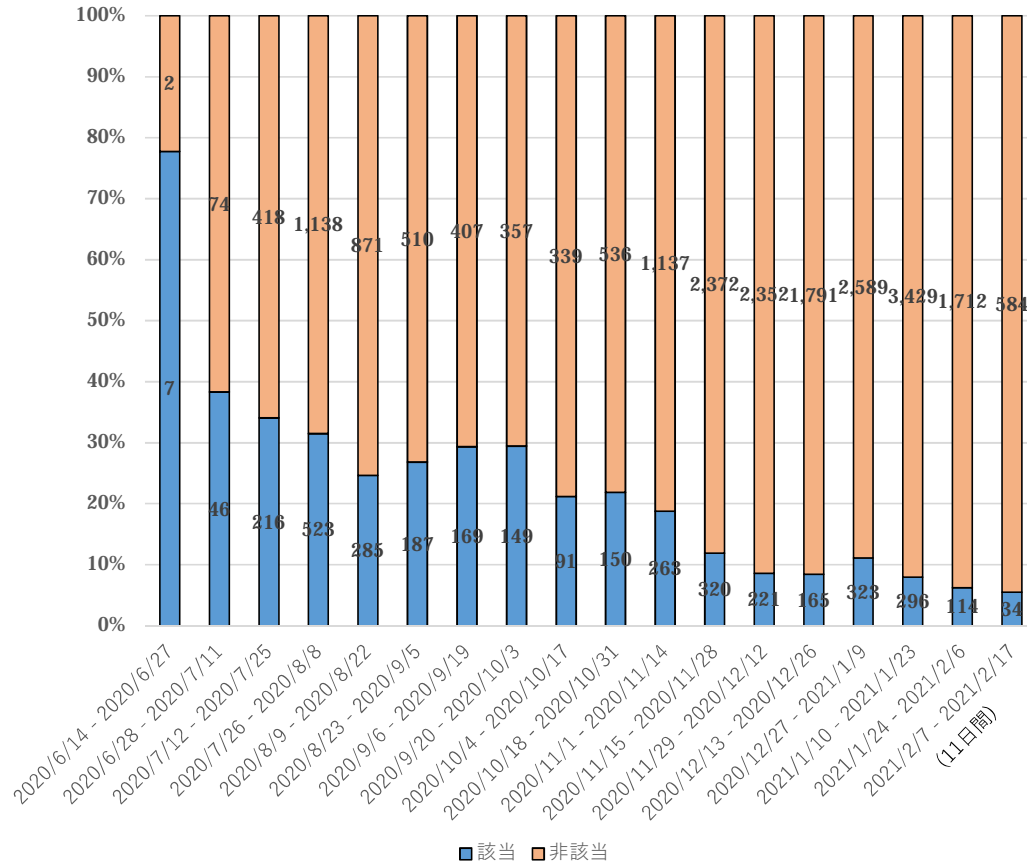
※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の関係者及び滞在者の割合・人数は、緊急事態宣言発出後、減少している。

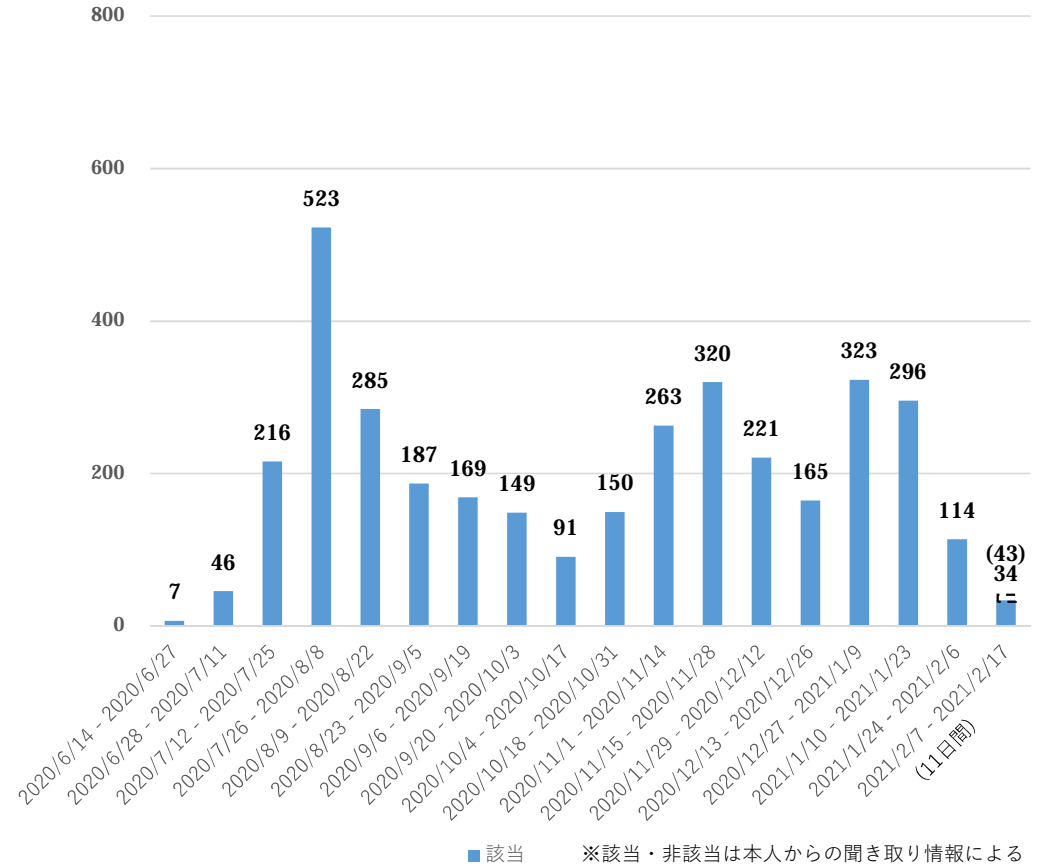
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降2月17日までに判明した感染経路不明者**24,177**事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



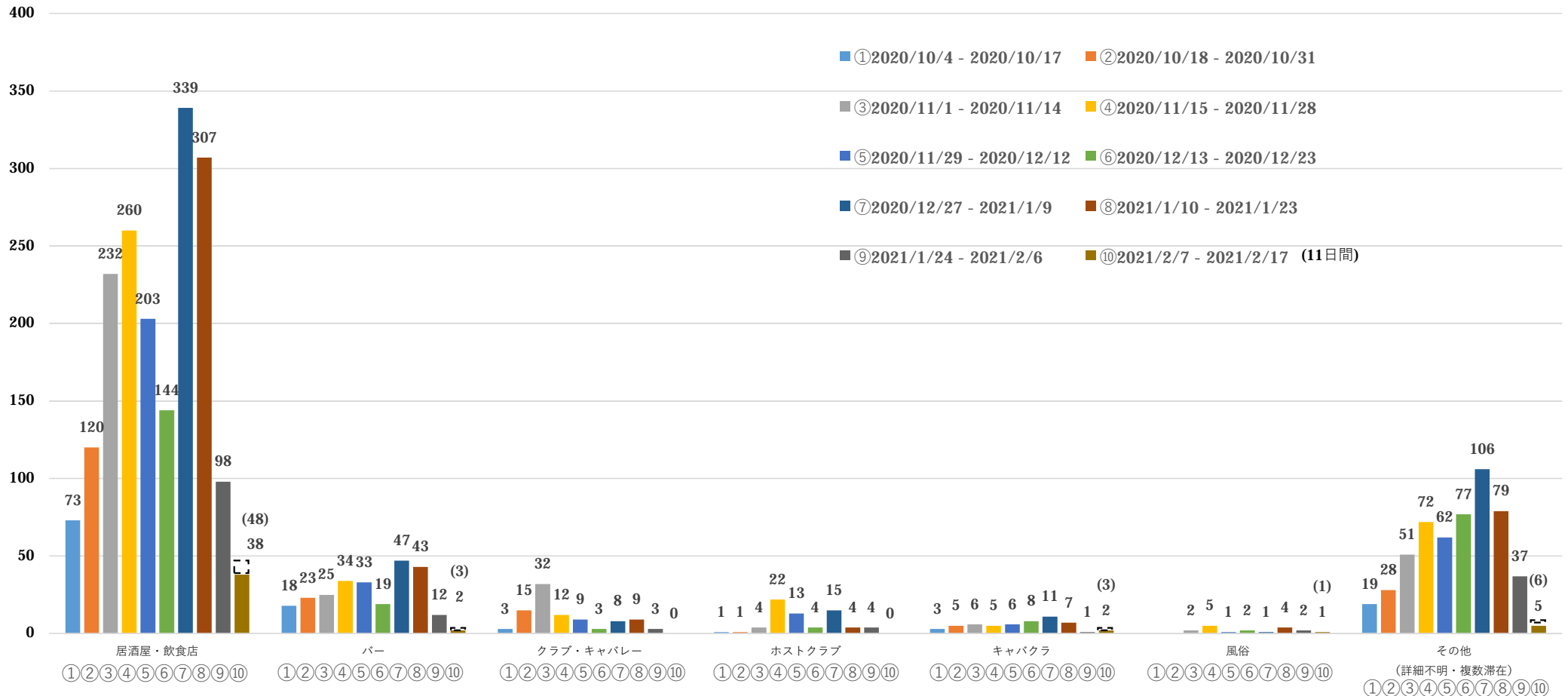
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

# 夜の街の滞在分類別の状況

(10月4日以降2月17日までに判明した2,840事例の状況)

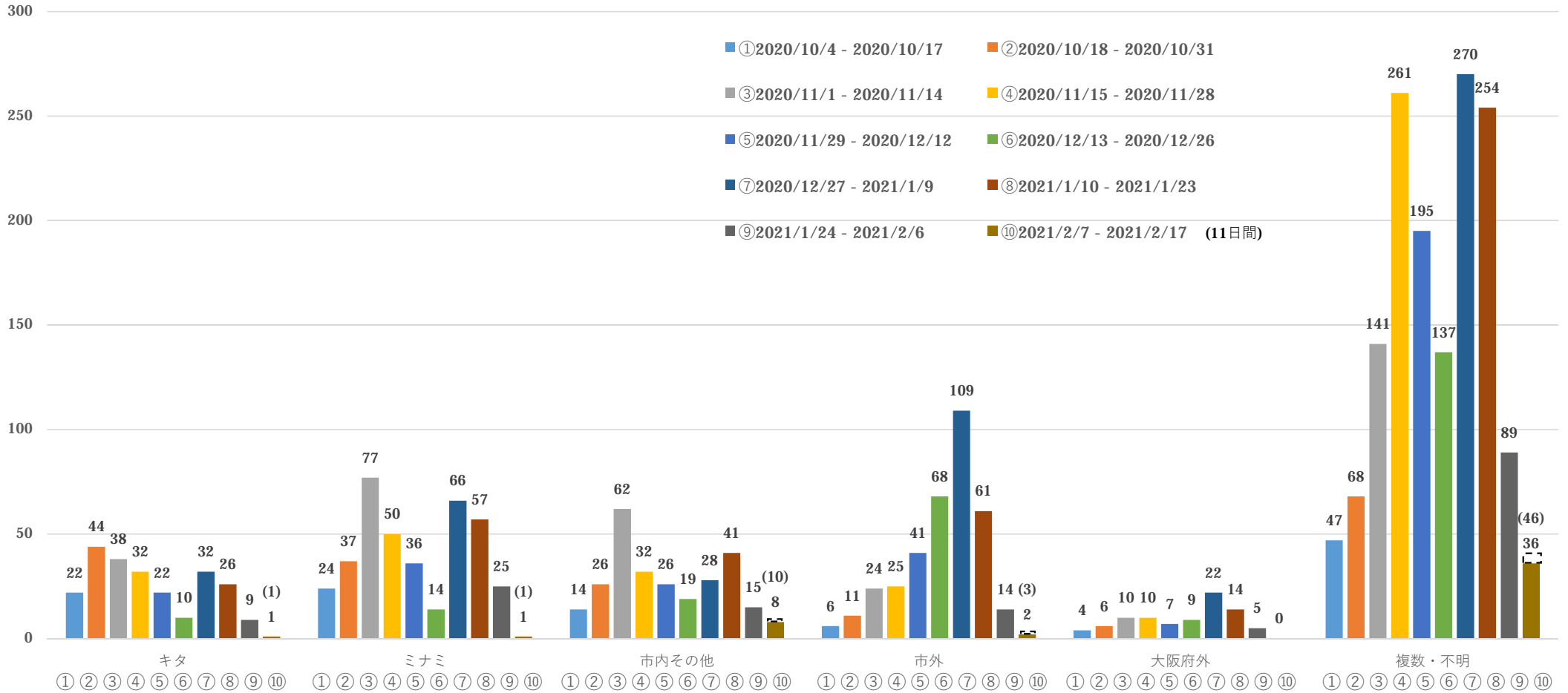


居酒屋・飲食店及びバーは、緊急事態宣言発出後、減少している。

※滞在先の分類は本人からの聞き取り情報による

# 夜の街の滞在エリア別の状況

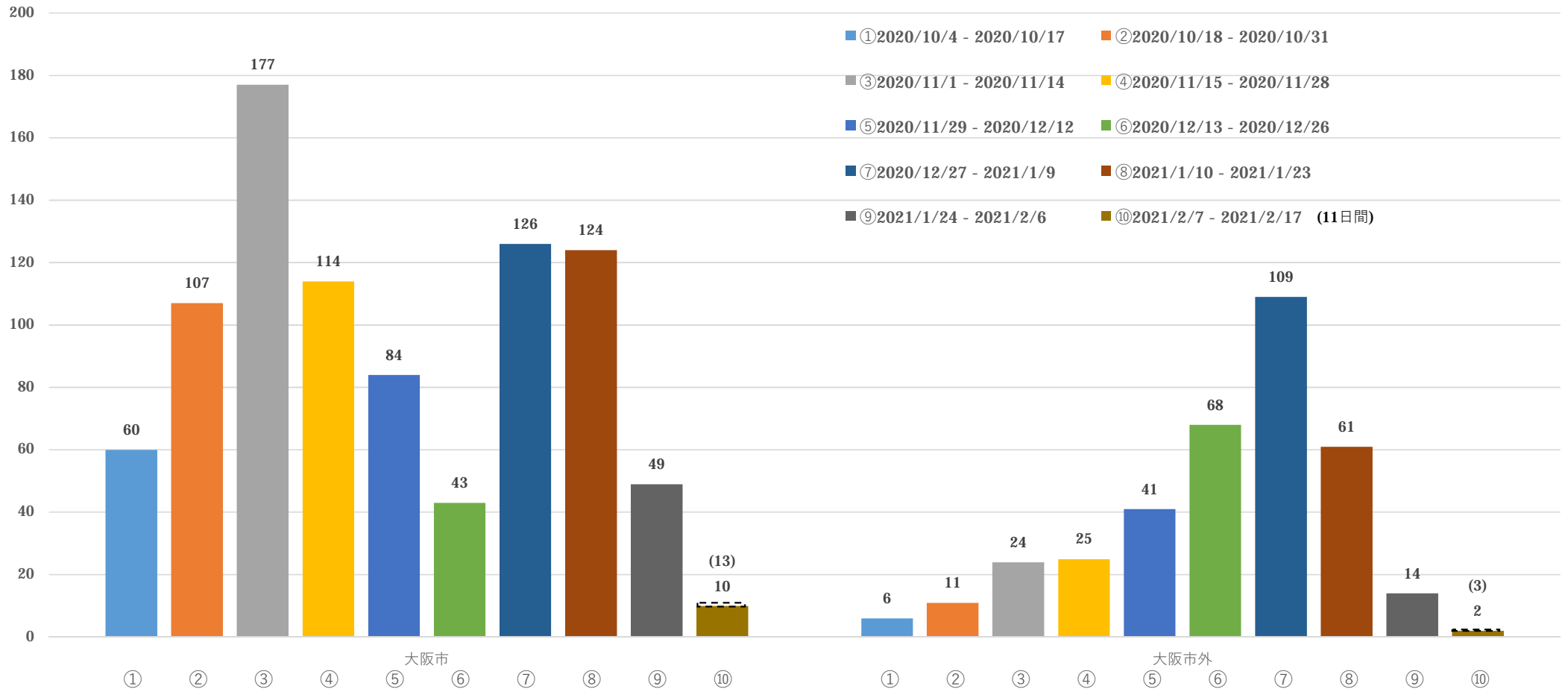
(10月4日以降2月17日までに判明した2,840事例の状況)



※滞在エリアの分類は本人からの聞き取り情報による 20

# 夜の街の滞在エリア別の状況

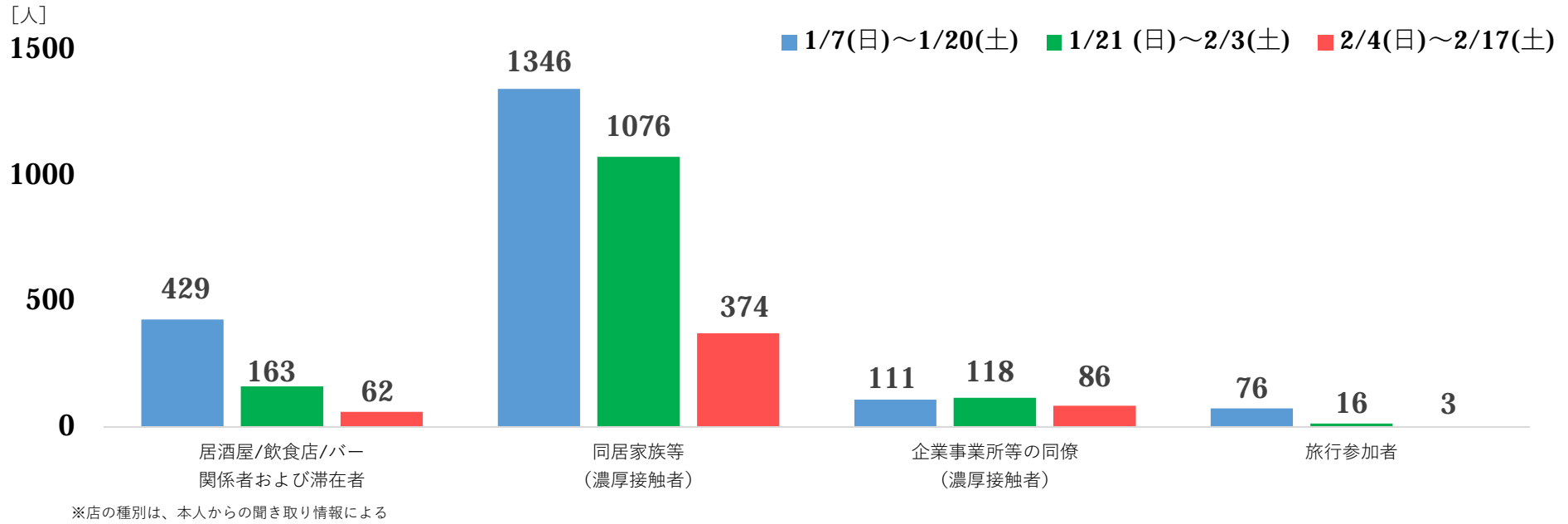
(10月4日以降2月17日までに判明した2,840事例の状況)



※滞在エリアの分類は本人からの聞き取り情報による 21

# 状況別の陽性者

## ● 状況別の陽性者



### 【全陽性者に占める割合】

状況	1/7-1/20	1/21-2/3	2/4-2/17
居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	5.7%	3.4%	3.3%
同居家族等(濃厚接触者)	17.8%	22.4%	19.8%
企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	1.5%	2.5%	4.5%
旅行参加者	1.0%	0.3%	0.2%

※全陽性者数：1/7-1/20 7,545名 1/21-2/3 4,798名 2/4-2/17 1,892名

# クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況  
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	ライブ参加者	4 施設	48	12.0
2	大学の関係者	1 大学	8	8.0
3	医療機関関連	6 機関	284	47.3
計			340	

第二波のクラスターの発生状況  
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	5 店	45	9.0
2	大学・学校関連	3 校	48	16.0
3	医療機関関連	10機関	295	29.5
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	16.9
5	その他	4件	63	15.8
計			840	

第三波のクラスターの発生状況  
(10月10日以降2月18日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	8店	82	10.3
2	大学・学校関連	30校	439	14.6
3	医療機関関連	60機関	2,026	33.8
4	高齢者施設・障がい者施設関連	130施設	2,387	18.4
5	その他	56件	568	10.1
計			5,502	

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	5,502
全陽性者数	1,786	9,271	35,279
割合	19.0%	9.1%	15.6%